

# 戦国合戦〈大敗〉の歴史学

日時：2017年12月2日（土）13時より（12時開場）

会場：東京大学工学部8号館83講義室（下記地図）

戦国時代の合戦で「大敗」すると、どのような事態が生じるのだろうか。敗者は衰退・滅亡への道を歩むというイメージは、後世に成立する軍記物などによるもので、必ずしも同時代史料で裏づけられるものではないようだ。

まずは良質な史料に基づいて、「大敗」の影響を多面的に探っていきたい。この公開研究会では、戦国時代の著名な7つの「大敗」を選び、比較・検証することで、歴史学の立場から「大敗」が及ぼした影響を見極めようとするものである。

13:00～13:05	趣旨説明	14:55～15:20	「長篠おくれ」の精神史
13:05～13:30	「大内義隆の出雲出兵大敗と その影響」	15:20～15:30	休憩
	山田貴司（熊本県立美術館）	15:30～15:55	「南九州戦国史のなかの 木崎原の戦い」
13:30～13:55	「今川義元の西上と〈大敗〉 一桶狭間の戦い」		畑山周平（東京大学史料編纂所）
	播磨良紀（中京大学）	15:55～16:20	「伊達家の不祥事と〈大敗〉 一人取橋の戦い」
13:55～14:20	「〈大敗〉からみる川中島の戦い」		黒嶋敏（東京大学史料編纂所）
	福原圭一（上越市公文書センター）		
14:20～14:30	休憩	16:25～16:30	休憩
14:30～14:55	「三方ヶ原での〈大敗〉と 徳川家臣団」	16:30～17:30	質疑・討論
	谷口央（首都大学東京）	17:30	閉会

主催 「戦国の〈大敗〉」プロジェクト

一般共同研究「関連史料の収集による大内氏の出雲出兵敗北とその影響の研究」（研究代表者山田貴司）

科学研究費補助金「戦国時代における「大敗」の心性史的研究」（研究代表者黒嶋敏）

当日申し込みも受け付けますが、資料準備にあたり大体の参加人数を把握する必要があるため、参加ご希望の方はあらかじめ下記フォームによりお申し込みをお願いいたします。

<http://www.hi.u-tokyo.ac.jp/footer/seminar-entry.html>

